

**先輩を囲んで個別に質問
“受験のコツ”聴きました!**

▶後半は、志望系統別に「難関大研究会」「文系研究会」「理系研究会」「看護系・教職系研究会」と4チームに分かれ、先輩を囲んで座談会が行われた。



ここに注目!

**卒業生の3人に1人が
国立大学に合格!**

ドリカム座談会以外にも、授業に卒業生を招いたり、卒業生の志望校合格までの道のりや勉強法を詳細に紹介した冊子を配布するなどの取り組みで、生徒のモチベーションを高めている同校。自発的に勉強する環境を整えることで、2012年度は卒業生の3人に1人が国立大学に現役合格という実績を挙げています。



▲「先輩たちの勉強法を知ることができ、とても役立ちました。この夏休みを利用して、中学でつまづいた基礎を復習しよう!がんばろう!と思いました」(4年生・Yさん)

▶「理系研究会」では「工学部は何を勉強するんですか?」などの質問が。「いずれ人間の意識を仮想空間で再現できるようになるかもね」と話す山本先輩(大阪府立大学工学部)に、尊敬のまなざしが注がれた。

▼大阪大学で物理を専攻する岩切先輩は、科学の面白さを熱弁。宇宙の謎に迫るヒッグス粒子の話から、中学時代は理系科目が苦手だったことや英語の克服方法まで、後輩の質問に応え熱心に話してくれた。



▶「看護系・教職系研究会」では、「志望校の決めかたは?」など具体的な質問が集中。「僕の夢は教職。先輩たちがオープンキャンパスに行くメリットをくわしく教えてくれたので、夏休み中に志望校を訪ねたい」(6年生・Kくん)



◀コーラス部に所属していた岩切先輩は、好きなミュージカルの脚本の英語を書き出しながら丸暗記したそう。そのノートを見せてもらった生徒たち。「英語が苦手なので、参考になりました」(1年生・Hくん)



ま な び

MANABI

画報

大阪学芸中等教育学校

**夏恒例の
『ドリカム座談会』
先輩たちが
夢をかなえる方法を
教えます!**

「ドリカム座談会」は、難関大学に合格した卒業生から直接話を聞くことができるイベント。今年は東大、阪大、同志社大などに合格した先輩9名が、夏休み前の母校を訪れました。先輩たちは、大学でどんな勉強をしているのか、大学受験までの学習計画の立て方、モチベーション維持の方法など、生徒から寄せられた質問に応えます。体験に基づいたリアルで熱いトークに、会場に集まった生徒たちは聴き入りました。座談会後半は、志望系統ごとに4グループに分かれ、先輩と近い距離で直接質問をぶつけます。

「僕も6年後には先輩たちみたいにになりたいです」と語った1年生のH君。生徒たちの心にあこがれとやる気が芽生えたようです。



▲「興味を持ったことに何でも挑戦することが大事です。さまざまな角度から物事を見たり、経験を積むことで大学で何をしたいのかが見えてきますよ」(和歌山大学経済学部・大野先輩)。先輩たちは、かわいい後輩に熱いメッセージを送った。



**東大や阪大に合格した
卒業生を囲む『ドリカム座談会』**

▲東京大学理科II類で薬学研究者をめざしている佐々木先輩は、「受験を意識した時期は?」という質問に「中学3年生の冬です」と応え、自分も大学に合格した先輩の話聞いてやる気になったと生徒たちを励ました。



◀学習計画を立てるのが苦手という大勢の生徒たちの声に、先輩たちはそれぞれが独自の方法を伝授。「進行状況に合わせて計画をマメに変更することも大切です」(大阪大学理学部・岩切先輩)など、具体的なアドバイスにメモを取る生徒も。